

【安倍首相、選挙支援に非常に喜んだ】旧統一教会、内部報告文書で言及

登録:2025-12-29 15:20 修正:2025-12-29 ハンギョレ新聞

「韓鶴子特別報告」に高市現首相の名前も 32 回登場

日本の政界と結んだ「ギブアンドテイク」モデルを韓国にも適用しようとした情況



世界平和統一家庭連合と関連団体の天安平和連合が 2021 年 9 月、京畿道加平郡雪岳面の清心平和ワールドセンターで共同主催した「神統一韓国安着のためのシンクタンク 2022」発足式に続く希望前進大会で、安倍晋三元首相が映像で基調講演を行っている=天安平和連合提供//ハンギョレ新聞社

「（安倍首相は）それ（選挙支援）について非常に喜んで安心しているようだった」

2019 年 7 月 2 日、日本の参議院選を前に自民党本部の総裁室で安倍晋三首相と面談した徳野英治・世界平和統一家庭連合（旧統一教会）日本統一教会会長（当時）は、教団首脳部にこう報告した。韓鶴子（ハン・ハクチャ）総裁に報告された「TM（True Mother、眞の母）特別報告」の文書には、日本の政界と旧統一教会が密接に癒着していた状況が露骨に表れている。安倍元首相ら日本の保守政界と代々続く「縁」があった旧統一教会は、自民党候補に組織票を集め、実際に当選者輩出に貢献した。旧統一教会が日本政界と結んだ「ギブアンドテイク」モデルを韓国政界にも適用しようとした情況も明らかになった。

■日本統一教会「応援した議員、自民党だけで 290 人」

2018年から2022年の間に作成された **TM 報告書**を今月28日に確認したところ、徳野元会長は**222回に及ぶ報告書**で、衆・参院選や自民党総裁選の動向分析とともに「統一教会が推す」候補に数万票を集め、いわゆる「選挙応援」状況を詳細に報告していた。徳野元会長は2021年12月の衆院選後には「我々が応援した国会議員の総数は、自民党だけで290人に達する」と得意げに報告していた。

日本統一教会の「選挙応援モデル」は、韓国でも学ぼうとするくらい体系的で緻密だった。2018年2月、徳野元会長は韓国統一教会の嶺南圏（慶尚道圏）の幹部らと会った席で、日本統一教会と政界が交わす「ギブアンドテイク」の機能のしかたを詳細に説明。教区の現場の長年の信者を中心に政治家らと「コンタクト（連絡）」を取って後援会を結成し、後援会を通じて政治家らを「教育（統一教会の思想の伝播）」し、彼らが統一教会の行事に参加して祝辞を述べるようにする方式だ。徳野元会長は「そのような『ギブアンドテイク』の関係性は韓国ではまだ摸索中であり、確立されていなかったため、非常に刺激的だったという」と報告した。

実際、当時面談に参加した嶺南圏の5地区長のP氏は、与野党を問わず嶺南圏の政治関係者に広く接触し、「韓日海底トンネル」関連事業の協力を求めていた。



東京の世界平和統一家庭連合（FFWPU）のロゴ/AFP・聯合ニュース

■安倍首相との面談の目的は「選挙応援」

日本統一教会と政界の「蜜月関係」は、参議院選を約3週間後に控えた 2019年7月2日、安倍元首相と日本統一教会の幹部らの「20分面談」の席で絶頂に達する。安倍氏と旧統一教会には、彼の祖父である岸信介氏が文鮮明（ムン・ソンミョン）総裁の設立した反共主義団体「国際勝共連合」

のメンバーとして活動するなど、代々続く縁があった。徳野元会長は安倍氏との面談が「今回で計6回目」だと述べた。

当時のTM報告書によると、徳野元会長は「安倍首相が推薦する北村経夫議員を我々団体がどこまで応援するか、決意を聞きたかったのは明らかだった」とし、安倍首相との面談の目的は『選挙応援』であったと報告。さらに「(我々は)これまでに10万票だったが、今回は30万票とし、最低でも20万票は死守すると宣言した」として「(安倍首相が)それ(選挙支援)について非常に喜んで安心しているようだった」と伝えた。

徳野元会長は安倍元首相と同席した自民党の萩生田光一幹事長代行(当時)にエリメスのネクタイも贈呈した。徳野元会長は「安倍首相は大変喜んだ」とし「たった一本のネクタイだったが効果的だった。真のお母様(韓鶴子総裁)への感謝の気持ちを贈り物を通じて感じたと思う」と報告した。

報告書によると、その後旧統一教会の組織票を基盤に当選した北村議員は、東京都渋谷区の旧統一教会の拠点である「松濤本部」を自ら訪問し「恩返し」を示す。7月24日の報告によると、徳野元会長は「得票数は約18万票で目標の20万票には届かなかったが、前回の選挙より約4万票増え、自民党本部でも非常に高く評価されたという」とし、「(北村議員が)我々の統一運動のおかげで当選したことを明らかにしたため、今後も我々と運命を共にするという決意を示した」と伝えた。

■ 「文大統領に会つたら必ず話してほしい」

旧統一教会は日本政界に持つ影響力を、『韓日海底トンネル』など宿願の事業の推進に活用した。徳野元会長は2018年5月の報告で、「『選挙応援』を通じて議員や自民党のトップクラスの重鎮幹部とより深い信頼関係を築くことが最も現実的で効果的なアプローチ」だとし、旧統一教会が当時開催した韓日トンネル関連行事に日本の現職議員が19人参加したと報告した。

2018年10月11日の報告では、日本の中堅政治家を通じて韓国政界に影響力を及ぼそうとした情況も表れる。徳野元会長は、旧統一教会と近しい関係にあった重鎮の衆院議員が韓日国会議員連盟の総会出席のため訪韓するにあたり、「(文在寅大統領に会つたら)韓日海底トンネルを本格的に進めようという話を必ずしてほしいと伝えた」と報告した。



2022年、奈良県で安倍晋三元首相を銃撃した男が犯行直後に警護員らに制圧されている/ロイター・聯合ニュース

■安倍襲撃直後、旧統一教会による犯人記録削除の情況

旧統一教会と安倍氏の蜜月関係は、彼が首相の座を退き、暗殺事件によって死亡する直前まで続いた。安倍氏は首相を退いてから1年後の2021年9月、旧統一教会が主催した「シンクタンク2022 希望前進大会」で、映像を通じての基調講演を行った。暗殺事件直前の2022年7月にも旧統一教会は「安倍元首相の依頼で我々が応援している」(TM報告)と述べ、参議院候補者である井上義行氏に対する水面下の選挙運動を展開していた。

こうした中、2022年7月8日の銃撃事件で安倍元首相が死亡し、犯人の山上徹也が教団信者の息子と確認されると、日本統一教会は大きく動揺した。奈良教区長のキム氏は、襲撃直後の2022年7月10日の報告で「犯人の山上徹也を知っている方から電話があり、(信者である)Aさんの息子であることがわかった」とし、「山上徹也が(日本統一教会の)大和郡山家庭教会の所属となっていたため、本部会長の指示で会員記録を削除した」と明らかにした。さらに、山上徹也の母親が数千万円の献金をしたことでの家庭内あづれきが深刻化したとし、「そのような家庭環境ゆえに、犯人も教会に恨みを持っていたようだ」とも報告した。

この日の報告には「A首相関連」という題で「日本の被害：参院選後に矛先を向けられる可能性－宗教法人抹殺－献金関連－VIP渉外基盤崩壊」「韓国：メディア対応はすでに開始、韓国はむしろ反安倍感情、キリスト教が積極的に活用の可能性も」など、**当時の状況に関する緊迫した独自分析**も書かれていた。

■高市早苗首相の名前も32回登場

TM文書には高市早苗現首相の名前も32回登場する。徳野元会長は、高市氏が2021年9月に初めて自民党総裁選に出馬した当時、「高市氏は安倍元首相が強く推薦しているということと、神奈川県出身であり、神奈川県の現場において高市氏の後援会と我々は親密な関係にある」とし、「岸田（文雄）前政策調整会長や高市前総務大臣が総裁に選ばれることが天の思し召しと思われる」と報告した。

「ギブアンドテイク」で日本政界に「密かな影響力」を行使していた日本統一教会は、安倍元首相殺害事件後、**政治スキャンダルとともに高額献金問題が注目され、解散の危機**に陥った。東京地裁は3月、「(信者)本人や近親者らの生活の維持に重大な支障が生じ、長期間にわたって深刻な影響を受けた者が相当数いる。(献金勧誘などの行為の)態様は悪質で、結果も重大だ」として解散を命じた。**旧統一教会は直ちに抗告し、高裁の判断を待っている。**

イム・ジェウ、ペ・ジヒョン、キム・ガウン、キム・スヨン記者（お問い合わせ
japan@hani.co.kr）

https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1236926.html 韓国語原文入力:2025-12-29 10:05 訳 C.M